

2026年1月17～18日

JWA JAPAN PROTOUR 2025-2026 FOIL SLALOM 第3戦

SHONAN FOIL SLALOM CHAMPIONSHIP 2026

大会レポート 担当者：JPN-69 中嶋颯

[大会概説]

◇大会名称：JWA JAPAN PROTOUR 2025-2026 FOIL SLALOM 第3戦

SHONAN FOIL SLALOM CHAMPIONSHIP 2026

◇開催日程：2026年1月17日(土)、18日(日)

◇開催場所：神奈川県三浦郡葉山町堀内森戸海岸

◇主催：一般社団法人 日本ウインドサーフィン教会(JWA)

◇協賛：株式会社 KCS / エンタープライズジャパン株式会社

株式会社ワンストップエージェンシー/株式会社オレンジパオ

◇協力：葉山町/湘南漁業協同組合/葉山支所/株式会社葉山マリーナ/

葉山港指定管理者湘南サニーサイドマリーナ株式会社/サンセット70/

葉山サーフクラブ/葉山モーターボート商会/

スターボードジャパン株式会社/セブンシーズ

◇大会参加者：プロクラス 36名 スペシャルクラス 11名

オープン/ジュニアクラス・ユースクラス 8名

◇大会の位置付け：今大会はJWAが主催するプロツアーノースラローム部門における2025-2026シーズンの最終戦に当たり、第1戦の慶野松原cup、第2戦の津久井浜cupと合わせた各クラスの年間ランキングが決定する大会でした。

◇大会会場：今大会の会場となりました神奈川県三浦郡葉山町堀内森戸海岸はヨット発祥の地であり、セーリングとはつながりの深い地となっております。プロツアーノースラローム部門の長い歴史の中で初となる湘南での大会開催となりました。

[大会模様]

◇day1

公示通り 8 時 30 分より、開会式並びにセーラーズミーティングが始まり、レースに向けて準備が始まりました。

以下、開会式及びセーラーズミーティングの模様です。



地元葉山サーフクラブ代表 小玉欽一様(JPN-99)



葉山町町長 山梨崇仁様



今大会初 MC 工藤輝選手(JPN-9)



全体の集合写真



レース委員会 由村剛志様

開会式後、南から東にかけての弱い風が入ることはありましたが、風向・風速ともに不安定だったため、選手たちはウェイティングに入りました。

その後、14時ごろまでウェイティングをし続けましたが、風が上がりきることはな

く、1日目はリリースとなりました。

リリース後、選手全員でのビーチクリーンを行いました。

以下ビーチクリーンの様子です。



◇day2

予報が朝の北風が強く吹くという予報であったため、セーラーズミーティングを30分前倒しし、7時30分からセーラーズミーティング、8時30分よりレース開始となりました。

予報では北から北東の風が5,6m吹く予報でしたが、最初に行われたプロクラス予選のころにはmax7,8mほどのブローが入っていました。8時26分予告信号でプロクラスのD旗が掲揚され、クウォーターファイナルより開始されました。今回のプロクラスは36人参加の4heat分けとなり、前回大会の上

位 12 人がセミファイナルで待ち受ける形となりました。

予選では各選手が勝ち上がり、決勝を走る 12 名が決定しました。

予選に続いて行われた女子決勝では、4 人という少数精銳のレースが行われました
が、1 レグ目でトップに出た須長由季選手(JPN-470)が逃げ切り、トップとなりま
した。

男子決勝では、予選に比べ落ちた風の中で、きれいに風が入っていた一番風上から
スタートした田島航選手(JPN-75)と、スタートでは真ん中で埋もれるも、マーク回
航でトップ争いに躍り出た富澤慎選手(JPN-11)による熾烈な争いが展開され、ゴー
ル直前で頭を出した富澤選手が 1 位となりました。

プロクラスに続けてオープンクラスが 9 時 46 分予告信号で D 旗が掲揚されま
した。

オープンクラスはスペシャルクラス 11 人、オープン＆ジュニアクラス 8 人の参加者
となり、ともに一発決勝となり、連続で 2 レース行いました。

オープンクラス終了後、10 時 56 分予告信号でプロクラスの D 旗が掲揚されま
したが、レース待機中に風が落ち、一度浜に帰着しました。

プロクラス延期後、13 時ごろより、同じ北から北東よりの風が戻ってきたため、
13 時 36 分予告信号で、オープンクラスの D 旗が掲揚されました。

スペシャルクラスは 3 レースすべて 1 位を取った田中響選手(JPN-600)がトータル
でも 1 位となり、オープンクラスでは、安定して高い順位を取った田口修平選手
(JPN-263)が 1 位、ジュニアクラスでは 1 位の取り合いとなる中、最終レースで 1
位を取った菱沼獅選手(JPN-1070)がオープンを含めた全体順位でも 1 位を取りま
した。

以下レース時の模様です。



オープンクラス3レース目が終了後、15時より表彰式並びに閉会式が行われました。

以下表彰式及び閉会式の模様です。



オープンクラス表彰模様

左から 1位 田口修平選手(JPN-263) 2位 保呂田猛選手(JPN-8080)

3位 市川澄人選手(JPN-741) 4位 田中宏治選手(JPN-564)

5位 鈴木昭佳選手(JPN-210)



ジュニアクラス表彰

左から 1位 菱沼獅選手(JPN-1070) 2位 永藤千晃選手(JPN-305)



スペシャルクラス表彰

左から 1位 田中響選手(JPN-600) 2位 平野誠選手(JPN-182)

3位 三澤文良選手(JPN-125) 4位 横尾颯太選手(JPN-847)



プロクラス ウィメンズ表彰

左から 土佐洋子様(葉山町議会議長) 2位 穴山美生選手(JPN-311)

1位 須長由季選手(JPN-470) 3位 大西富士子選手(JPN-94)



今大会プロメンズクラスで5位入賞し、プロ登録宣言をした山浦喜大選手(JPN-317)



プロメンズクラス表彰

左から 2位 田島航選手(JPN-75) 1位 富澤慎選手(JPN-11)

3位 金上颯大選手(JPN-16)

そして、今大会をもって2025-2026シーズンの年間ランキングも決定したため、年間上位者が表彰されました。上位選手には葉山名物のコロッケが贈呈されました。



プロウイメンズクラス年間ランキング表彰

左から 土佐洋子様 2位 須長由季選手 1位 穴山美生選手

3位 大西富士子選手



左から 土佐洋子様 2位 山田昭彦選手(JPN-67) 1位 富澤慎選手

3位 田島航選手・金上颯大選手



葉山議会議長 土佐洋子様



JWA スラローム委員会委員長 中井忠則選手(JPN-121)



集合写真の様子

[大会総括]

まず初めに今大会を開催するにあたり、急な開催となりながらも多大なるご協力並びにご理解をいただきました、葉山町長長山梨崇仁様、葉山町議会議長土佐洋子様をはじめとする葉山町の皆様にこの場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございます。急遽の開催にもかかわらず、50名ほどの選手が参加していただいたのは来シーズン以降のフォイルスラローム競技の発展に向けて好発進となったのではないでしょうか。そんな中でも、フォイルは特に参加選手のゲレンデの偏りが顕著となっているため、今後の課題として、参加人数に加え、参加ゲレンデの種類も増やしていくことが重要であると考えられました。プロ選手をはじめとした各ゲレンデでの練習会の開催であったり、積極的なSNSの運用などの普及活動により一層のものが必要になります。今後とも尽力してまいりますので、JWA及びスラローム委員会へのご支援ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

JPN-69 中嶋颯